

清水研究室

応用化学科



私たち生物化学研究室では、がん悪性化の解明を目指して研究を多角的に進めており、将来、バイオ・製薬・化粧品・食品などの分野で活躍できる研究者になることを目指します。

ケミカルバイオロジー

ケミカルバイオロジーとは化学で生物学を理解・制御する学問領域です。学内外の研究者から提供していただいた化合物を使用し、当研究室では、主に生理活性物質の標的タンパク質の同定を行っています。扱った化合物が将来、医薬品になることを期待しています。

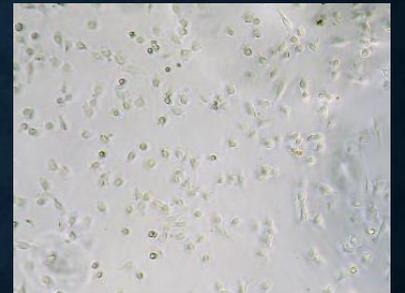
糖鎖修飾

タンパク質の糖鎖修飾に関する研究です。タンパク質が翻訳された後に、単糖のマンノースが付加する研究を主に行っています。基質タンパク質の機能解析や責任酵素同定を行い、成果をあげてきました。

血管擬態

がん細胞が血管のような形態をとることで悪性化に関与していることが示唆されていますが、不明な点が多い領域です。当研究室ではゲノム編集技術をはじめ、最新の技術で血管擬態の機構解析を行っています。

通常状態の細胞



血管擬態を形成した細胞集団

～研究室についてのQ&A～

Q 研究室に所属している人数は？

A D3:3人、D2:1人、D1:1人(Dは博士課程)

M2:5人、M1:5人(Mは修士課程)

B4:6人(Bは大学生)

の計21人の学生が所属していて、
男女比は12:9です！



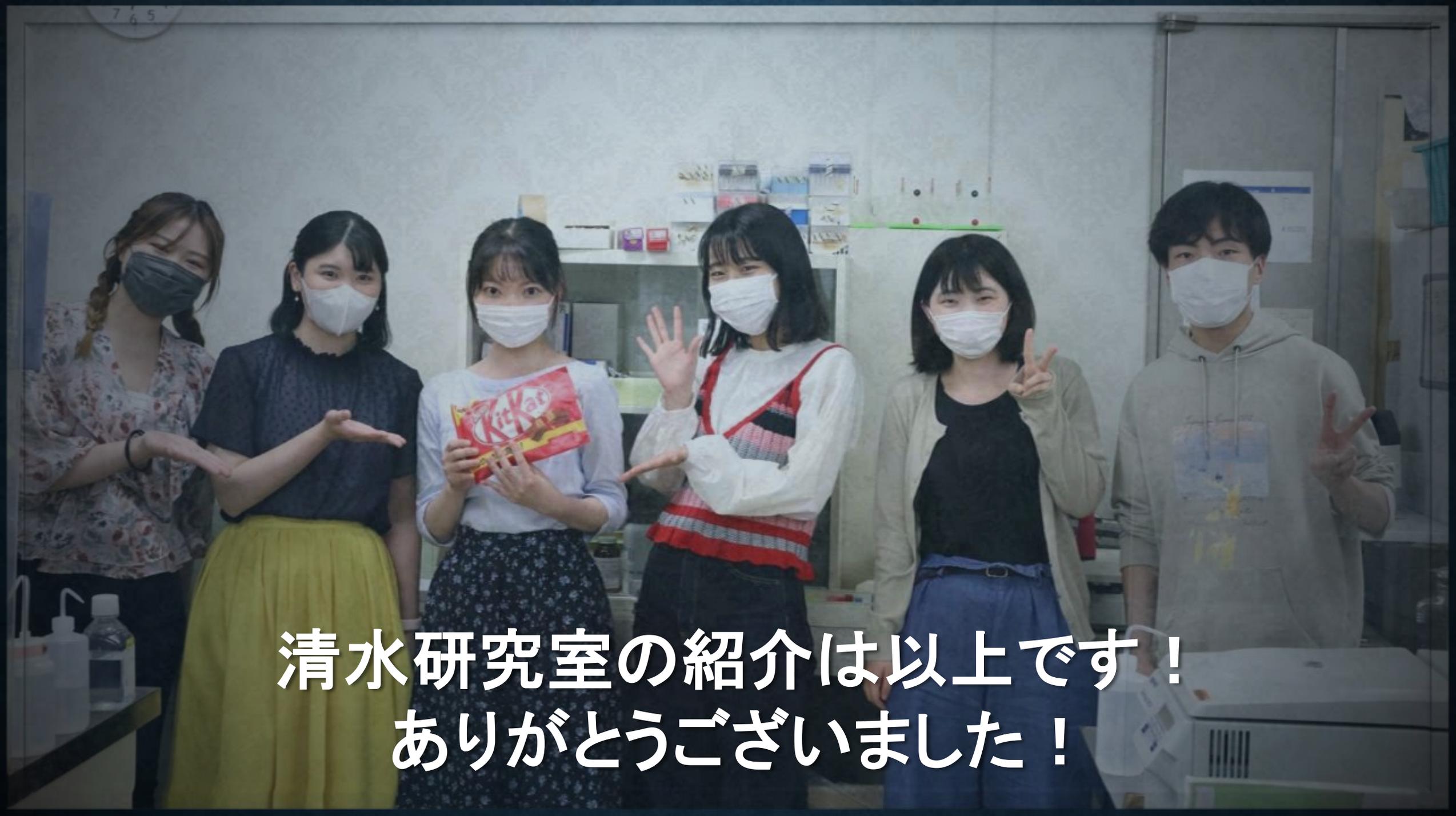
Q 研究室の仲良しエピソードは？

A 研究室メンバーの誕生日にお菓子をプレゼントしてお祝いしています♪
zoom飲み会も定期的に行っています(^▽^)/



Q 研究室に入るうえで学んでおいた方がいいことは？

A 生物化学分野・細胞生物化学分野などを学んでおいていただけると嬉しいです



清水研究室の紹介は以上です！
ありがとうございました！